

# Deep Six Excursion



ユーザーマニュアル

2020年8月版

## 内容

はじめに .....	3
安全上の注意 .....	3
ナイトロックと安全 .....	5
ダイブコンピュータの限界 .....	5
ダイブコンピュータのお手入れ .....	6
ダイブコンピュータの保管について .....	6
ダイブコンピュータのメンテナンス .....	7
保証情報 .....	7
バッテリーの充電 .....	9
1. 画面表示 .....	10
1.2 MENU - メインメニュー .....	11
1.3 WATCH - 時計 .....	14
1.4 SCUBA - スクーバモード .....	17
1.5 GAUGE - ゲージモード .....	27
1.6 FREE - フリーモード .....	28
1.7 LOG - ログ .....	33
1.8 SETTINGS - 各種設定 .....	34
1.9 SYNC - データシンク .....	38
製品仕様 .....	39
コピーライト .....	39
免責事項 .....	39

## はじめに

この度は Deep 6 Gear のダイブコンピュータをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機はダイビングでの使用を目的とした非常に信頼性の高い高精度な電子機器です。

本製品をご使用いただく前に、このユーザーマニュアルをよくお読みいただき本機の機能に慣れ、新しいダイビングの世界をお楽しみください。

## 安全上の注意

### 警告：

ダイビングでご使用いただく前には、ユーザーマニュアルの全ての項をよく読み理解した上で本機をご使用ください。またダイブコンピュータの限界、表示、使用方法を完全に理解してください。この段階を怠ると深刻な障害または死亡を引き起こす事になります。

ダイブコンピュータを使用する場合はダイビング器材の正しい使い方を習得してから使用してください。不十分または誤った講習は重大な障害または生命に危険を及ぼす可能性があります。正しい講習、トレーニングに勝るコンピュータはないことを十分に理解してください。

ダイブコンピュータはダイビングの補助器材のひとつです。潜水する際には常にバックアップ器材（ダイブテーブル、時計、残圧計、水深計等）を使用する事を忘れず、常にダイブテーブルを確認できる準備を怠らないでください。

ダイビングにおいて減圧症・酸素中毒を完全に防ぐ方法やダイブコンピュータはありません。

例えば各自の体調や生理的現象等はその日その日で異なり、ダイブコンピュータはこれらの違いを把握する事はできません。安全のためにも、潜水前には医師による体調チェックをお奨めします。

減圧症は重大な障害または死につながる危険があります。

ダイブコンピュータ使用中は他のダイバーとの間で交換、共有してはいけません。

使用中に他のダイバーが使用した場合、コンピュータは不正確な情報を表示します。

コンピュータを使用しないでダイビングをした場合にはコンピュータは反復潜水などの引き続きのダイビングの計算はできません。従って、コンピュータなしでダイビングをした場合には安全のために、4 日以内はコンピュータを使用しない事をお奨めします。

減圧停止を要求するダイビングはお奨めしません。ダイブコンピュータが減圧停止を要求する表示になった場合には速やかに浮上して減圧を開始してください。

減圧症の可能性が増大すると思われるダイバー（体調不良等）は、個人調整モードで更に安全な設定を選択する事ができます。個人調整モードを誤って選択すると、減圧症の危険が増すとともにコンピュータが誤った情報を表示しますのでご注意ください。

ダイビングでご使用いただく前にはコンピュータの事前点検を必ず行ってください。

ダイビング開始前に全ての表示、バッテリーが十分に充電されてるか、液晶表示に異常がないか、酸素割合、アルゴリズム調整が正しく設定されているかを必ず確認してください。

本機は職業ダイバー用ではありません。専門的もしくは業務レベルの精度を要する計測用途には使用しないでください。

本機はレクリエーション用のために設計されています。コマーシャル及びプロダイバーの要求は常に減圧症の危険を増すダイブプロフィールにダイバーをさらすため、このようなダイビングを計画するダイバーにはこのダイブコンピュータを使用する事をお奨めしません。

ダイバーは自分の安全は自分自身で責任を持たなければなりません。

スポーツダイバーの最大深度は40mに限るか、コンピュータに設定された酸素割合（%）及び酸素分圧1.4barで計算された最大深度の限界を超えない事を強くお奨めします。より深い深度での曝露は酸素中毒と減圧症の危険を増大させます。

コンピュータに飛行機搭乗禁止マークの警告が表示されている間は飛行機搭乗を避ける事をお奨めします。飛行機搭乗または高所に移動する時は減圧症の危険が増加します。

## ナイトロックと安全

ナイトロックによるダイビングは窒素割合を減少させることにより、ダイバーの減圧症を低下させますが、酸素割合を増加させることは、ダイバーを酸素中毒の危険に徐々にさらすことになります。この危険を防ぐため、コンピュータは時間と酸素暴露の度合いを計算し、安全限界範囲内の酸素暴露を保持するために必要な情報をダイバーに与えてくれます。十分な理解と知識を得た上でご使用いただく必要があります。ナイトロック講習を受けていないダイバーはナイトロックガスを使用したダイビングを行わないでください。ご使用のダイビング器材がナイトロックと互換性があるか必ず確認してください。

自分自身でシリンダーのナイトロックの割合（％）を点検しないで潜水する事は大変危険です。シリンダー内の内容を間違えて使用したり、間違った酸素割合（％）をコンピュータに設定した場合には、誤った情報が表示され減圧症または酸素中毒につながる重大な事故になる可能性があります。

コンピュータに使用するタンクの酸素割合（％）が正しく設定されているか、また酸素分圧の設定が1.4barを超えていないことを必ず確認してください。

コンピュータは酸素割合（％）の小数点以下は設定できません。酸素割合（％）は小数点以下を切り捨てて設定してください。例えば、酸素割合が31.8%の場合、31%で設定してください。

この割合を切り上げて設定するとコンピュータが窒素割合（％）を過小評価し、減圧症の危険を増大させる原因となります。

## ダイブコンピュータの限界

ダイブコンピュータは最新の安全ガイドラインと減圧研究をベースにしていますが、ダイビングにおいて減圧症・酸素中毒を完全に防ぐ方法やダイブコンピュータはありません。

またダイバー個々の生理的現象、体調などの違いをダイブコンピュータが認識できないことを十分に理解してください。

## ダイブコンピュータのお手入れ

お手入れについて：

- 本機は絶対に分解しないでください。
- 本機をご使用後には常に真水に浸しきれいにすすぎ、柔らかい布で水分を拭き取り、塩の結晶や砂などがよく洗い流されているか確認してください。
- ウレタンストラップは汗や海水などで濡れたまま放置したり、湿気が多い場所に放置すると劣化が進み切れたりすることがあります。ご使用後は常に本機をきれいにしてから保管してください。ヒビやほつれなどの症状がでたときはストラップを交換する必要があります。その際は製品をお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本体やストラップを汚れたままにしておくと再使用時に汚れなどによって皮膚がかぶれることもありますので、皮膚が弱い方は特にご注意ください。

注意：

1. 本体を洗い流すのに勢いの強い水道水、シャワー、高圧洗浄機などを絶対に使用しないでください。
2. 本体の水分を除去するのに圧縮空気を使用しないでください。
3. 本体を傷つけるような洗浄液を使用しないでください。
4. 本体を水中以外の圧力がかかる状態で使用しないでください。

## ダイブコンピュータの保管について

- 直射日光のあたる場所や高温／低温／多湿、磁気を発する場所（テレビやオーディオ機器のスピーカー、磁気 ネックレスの近くなど）での保管は避けてください。※5℃～25℃の乾燥した場所での保管を推奨
- 長期間ご使用にならない場合には必ず本機のお手入れ後、保管してください。
- 本体が傷つくまたは破損する恐れがありますので、バッグの底の堅い場所、他のダイビング器材や重いものなどの下敷きになるような場所には保管しないでください。
- ガソリンやマニキュア、化粧品、クリーナー液、トイレ用洗剤、接着剤、アルコール類などが付着すると本体やストラップが変色したり、本体そのものを傷めることがありますので化学物質が発散している場所や、薬品にふれる場所には放置しないでください。

**重要：**

ダイブコンピュータはスリープモード（充電バッテリーの残量がある状態）で保管してください。

充電バッテリーの残量が0%で画面が表示されていない状態での長期間の保管は故障の原因となります。また、長期間充電をしなかったことに起因するバッテリーの不具合は保証の対象外となります。

本機を使用していない場合でも、1カ月～2カ月に1回は充電していただくことをお奨めします。

## ダイブコンピュータのメンテナンス

以下の症状が見られる場合には、すぐに販売店に点検をご依頼ください。

1. コンピュータのガラス面内側に水滴がついたり、水漏れがおきたと思われる場合
2. 充電バッテリーの消費が極端に早くなった場合
3. 本体にヒビや変形などの異常が見られる場合

**重要：**

どのような状態・状況においても本体を分解しないでください。正規サービスセンター以外の場所で分解された製品は保証の対象外となります。

## 保証情報

### ◆製品保証

保証期間内は認定サービスセンターにより、独自の判断で素材または不具合の修理を無料で行うことを保証します。消費者製品の販売に関する該当する国内法で保護された保証的権利は、本限定保証により影響されません。本限定保証は正規に日本国内に輸入され、株式会社エフエル・コーポレーションで販売されている商品（以後、「正規品」）を購入された場合に限りです。正規品以外で購入された場合でも、保証サービスを受けることができます。但し、サービスセンターで保証対象となる不具合の修復、交換に必要な部品は無償となりますが、修理工賃、修理品のご持参や送付、お持ち帰りの交通費などの諸経費はお客様負担となります。製品保証を受けるには、製品が保証期間内であることを証明する保証書が必要となります。

### ◆保証期間

保証期間は当初の購入者であるエンドユーザーが製品を購入した日から始まります。

ダイブコンピュータ本体の保証：お買い上げ日から 1 年

尚、該当する国内法の範囲で保証期間は、再販や修理、または製品交換により延長または更新されることはありません。

### ◆保証の対象外となる修理内容

本限定保証において、次の項目は保証対象外となります。

1. 通常の摩耗、キズ、損傷、バッテリーの消耗
2. 取扱い不注意及び乱用による故障・損傷（鋭利なものによる損傷、圧迫、落下、折り曲げなど）
3. 製品の誤用、または取扱説明書に反する使用による不具合や故障及び損傷

4. 同梱されている付属品
5. 製品に記録されたログや履歴、ソフトウェア、サービスと共に本製品をご使用された場合に発生した不具合。または使用目的以外の方法で発生した不具合
6. DEEP 6 GEAR 以外で製造、または提供された製品、アクセサリと共に本製品をご使用された場合に発生した不具合
7. 製品の輸送、天災等で生じた故障・損傷や不具合

◆保証期間中でも保証適用外となる内容

1. お客様ご自身による製品の分解、変更、修理が行われた場合
2. 正規サービスセンター以外による製品の分解、変更、修理が行われた場合
3. DEEP 6 GEAR 社以外の部品を使用して修理が行われた場合
4. 製品のシリアルナンバーが故意に削除、損傷、改変、または如何なる方法で判読を困難にしている場合（弊社の独自の判断により断定するものとする）。
5. 保証書に所定事項の記入がない場合、あるいは字句や購入日を書き換えられた場合

◆アフターサービス

万が一製品が故障した場合は、製品を保証書と共にご購入の販売店、またはお近くの DEEP 6 GEAR ダイビング製品の取扱店にお持ちください。その際に郵送費や送料が発生した場合はお客様負担となりますのでご了承ください。なお、保証期間外の製品に関しては有償修理となります。

◆修理のご依頼にあたっての注意事項

修理を行う必要がある場合にはログが消えることがあります。修理・メンテナンスをご依頼の場合はあらかじめログブックなどにお控えください。また高度設定、個人調整、警告アラームなどの設定もリセットされ初期状態に戻ることがあります。通常ご使用される設定はメモなどにお控えいただくことをお奨めします。

修理により消去されたログや履歴は保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

◆責任の限定

Deep 6 Gear 社、株式会社エフエル・コーポレーション及びその子会社は、本製品を使用した、または使用できなかったことに起因する不意または結果として起こったいかなる損害に対しての責任、本製品の使用から生じた第三者の損害や申し立てに対し、いかなる責任も負わないものとします。



## バッテリーの充電

本機は 1 回のフル充電で約 25 潜水時間（バックライト常時点灯）使用することができます。  
残量表示は本体の設定、使用の環境（気温）、バックライトの設定の設定など誤差が生じます。

**重要！** 本機を初めてご使用になる前には、必ずフル充電してください。

**危険！** バッテリー残量が半分以下の場合はダイビングに使用しないでください。

## 充電方法

本機を充電する場合には、付属の専用クリップと USB ケーブルを使用してください。（USB アダプタは付属されておりませんので、市販の製品をご使用ください。スマートフォン、タブレットで使用する USB アダプタをご利用いただけます。）

充電をされる場合には、家庭用電源からの充電を推奨します。

バッテリー残量によって異なりますが、急速充電モードでは 1 時間で約 80% 充電可能です。

パソコンでの充電はお奨めしておりません。パソコンからの充電のみを繰り返し行った場合、バッテリーの充電サイクルが極端に短くなる場合がありますのでご注意ください。

専用クリップ + USB ケーブル



クリップを本体に取り付け充電



# 1. 画面表示

## 1.1 ボタン機能

### POWER ボタン (左上) :

- 画面表示 ON/OFF
- バックライト ON/OFF
- MENU を表示しているとき、ひとつ前画面に戻る
- 長押しで電源 ON/OFF



### UP ボタン (右上) :

- メニューを上スクロール
- 設定値の変更
- クイック設定メニューの表示

### MODE ボタン (右中) :

- MENU 表示
- 決定

### DOWN ボタン (右下) :

- メニューを下スクロール
- 設定値の変更
- 最終ダイブ (サーフェス) 表示
- ダイブ履歴表示
- フリー履歴表示

## 1.2 MENU - メインメニュー

1.2 メインメニュー	
操作：時計表示から MODE ボタンで MENU 表示 → UP/DOWN ボタンで MENU のスクロール	
 <p>A circular menu screen with a battery icon at the top. The word "MENU" is centered. Below it, a horizontal line separates the title from the options: "WATCH", "SCUBA", "GAUGE", and "APNEA". A right-pointing triangle is positioned to the left of "WATCH", indicating it is the selected option.</p>	<p>WATCH - 時計 デフォルトの時計画面を表示</p>
 <p>A circular menu screen with a battery icon at the top. The word "MENU" is centered. Below it, a horizontal line separates the title from the options: "WATCH", "SCUBA", "GAUGE", and "APNEA". A right-pointing triangle is positioned to the left of "SCUBA", indicating it is the selected option.</p>	<p>SCUBA - ダイブモード ダイブモード画面を表示</p> <p>AUTO ダイブモードは潜水時に自動で起動します。</p> <p>自動で起動するモードをフリー、ゲージに変更することもできます。</p>
 <p>A circular menu screen with a battery icon at the top. The word "MENU" is centered. Below it, a horizontal line separates the title from the options: "WATCH", "SCUBA", "GAUGE", and "APNEA". A right-pointing triangle is positioned to the left of "GAUGE", indicating it is the selected option.</p>	<p>GAUGE - ゲージモード ゲージモード画面を表示</p> <p>ゲージモードは潜水時に自動で起動します。</p> <p>自動で起動するモードをダイブ、フリーに変更することもできます。</p>

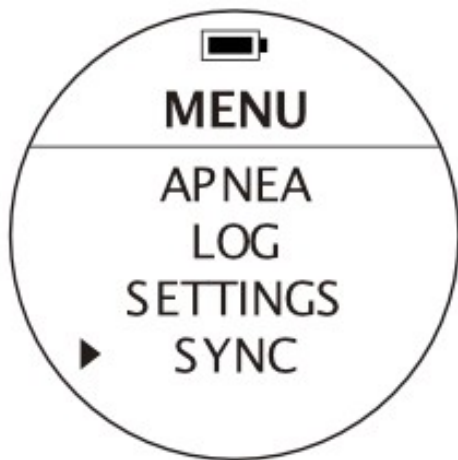
## 1.2 メインメニュー

操作：時計表示から MODE ボタンで MENU 表示 → UP/DOWN ボタンで MENU のスクロール

	<p>APENA - フリーモード フリーモード画面を表示</p> <p>フリーモードは潜水時に自動で起動します。</p> <p>自動で起動するモードをダイブ、ゲージに変更することもできます。</p>
	<p>LOG - ログ ログ画面を表示</p> <p>UP / DOWN ボタンで見たいログを選択</p>
	<p>SETTINGS - 各種設定 各種設定画面を表示</p> <p>UP / DOWN ボタンで設定内の項目を選択</p>

## 1.2 メインメニュー

操作：MENU 表示 → 時計表示で MODE ボタン、MENU のスクロール → UP/DOWN ボタン



SYNC - データシンク  
データシンクモードを表示

## 1.3 WATCH – 時計

### 1.2.1 時計モードの設定



時計表示は本機のデフォルト画面です。

メインメニューや他のモードを表示中（ダイビング中は除く）に時計表示に戻りたい場合は、POWER ボタンでひとつ前の画面に戻り、時計を表示できます。

ポイント：

時計表示の状態では本機を操作していない場合はスタンバイモード（無表示）に切り替わります。

24 時間以上なにも操作しなかった場合、本機はスリープモード（電源 OFF）に入ります。

スタンバイモード：

本機を 45 度程度傾ける、どれかボタンを押すと時計が表示されます。

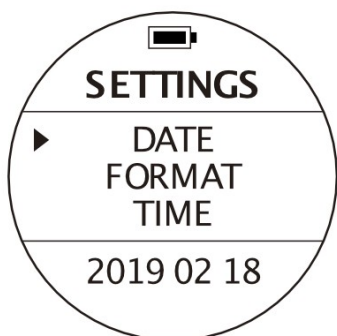
スリープモード：

POWER ボタンを押すと電源が ON になり、時計が表示されます。

注意：

スタンバイモードとスリープモードは見た目だけでは判断できないため、ダイビング前には必ず電源が ON になっていることを確認してください。

### 1.3.1 時計モードの設定



DATE - 日付設定

表示：時計表示で UP、または MENU

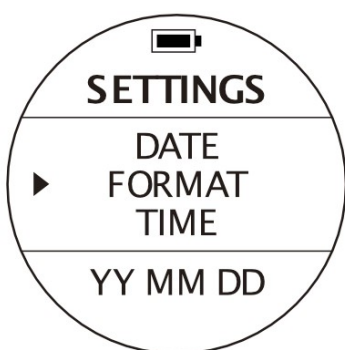
→ SETTINGS

設定：DATE で MODE → 西暦が点滅

→ UP/DOWN で数値を変更

→ MODE で決定

次に月が点滅表示、上記と同様に設定を行います。全ての設定が終わると点滅表示が元に戻ります。



FORMAT - 日付フォーマット設定

表示：時計表示で UP ボタン、または MENU

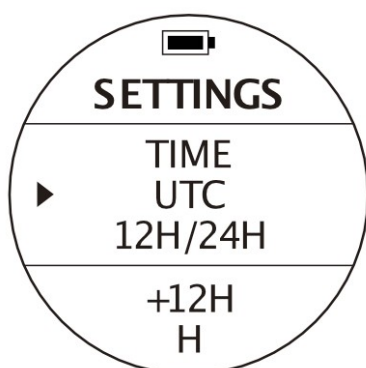
→ SETTINGS

設定：FORMAT で MODE → 画面表示下段が点滅表示

UP/DOWN で任意のフォーマットを選択

→ MODE で決定

- YYMMDD 西暦・月・日
- MMDDYY 月・日・西暦
- DDMMYY 日・月・西暦



UTC - UTC 設定

表示：時計表示で UP、または MENU

→ SETTINGS

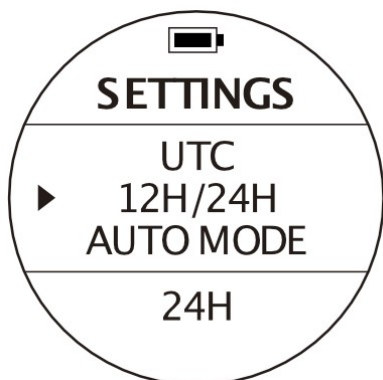
設定：UTC で MODE → 画面表示下段が点滅表示

→ UP/DOWN で数値を変更

→ MODE で決定

※日本は UTC+9

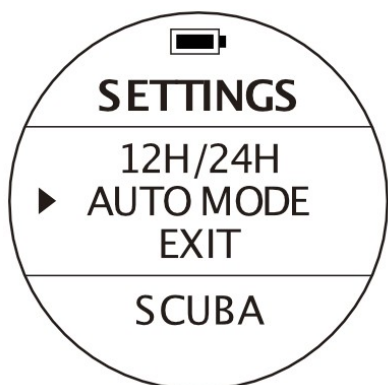
### 1.3.1 時計モードの設定



12H/24H - 時計フォーマット設定  
 表示：時計表示で UP、または MENU  
 → SETTINGS  
 設定：12H/24H で MODE → 画面表示下  
 段が点滅表示  
 UP/DOWN で任意のフォーマットを選択  
 → MODE で決定

- 24H - 24 時間表示
- 12H - 12 時間表示

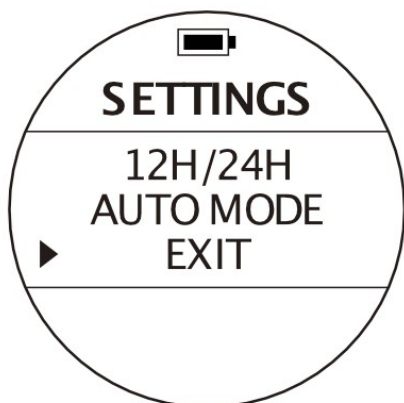
12H 設定では時計表示左上に A（午  
 前）または P（午後）が表示



AUTO MODE - 自動モード設定  
 水中に潜ったときの自動アクティブモードの設定  
 設定：AUTO MODE で MODE → 画面表示  
 下段が点滅表示  
 UP/DOWN で任意のダイブモードを選択  
 → MODE で決定

- SCUBA - スクーバモード（エアまたはナイトロックス）
- FREE - フリーモード
- GAUGE - ゲージモード

フリーモード、ゲージモードを使用しないダイバーは  
 常に SCUBA に設定しておくことをおすすめします。

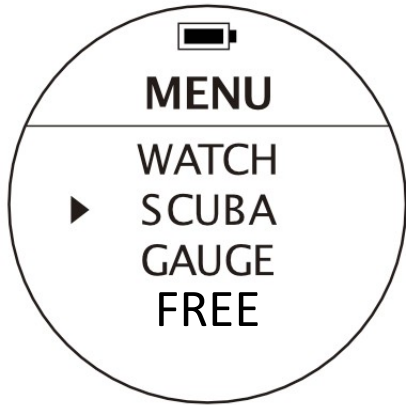


EXIT - 戻る  
 MODE ボタンで設定を終了し時計に戻る



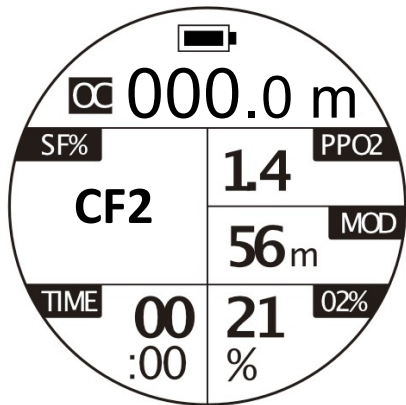
## 1.4 SCUBA – スクーバモード

### 1.4.1 スクーバモード



SCUBA – スクーバモード

表示：時計表示で MODE → MENU  
→ SCUBA



スクーバモードの表示（スタンバイ時）

画面上段：

深度 000.0m

画面中段左：

アルゴリズム調整の設定値 CF1~3

CF1...CF2 より厳しい設定

CF2...標準設定

CF3...アグレッシブ

画面中段右：

PPO2（酸素分圧）の設定値

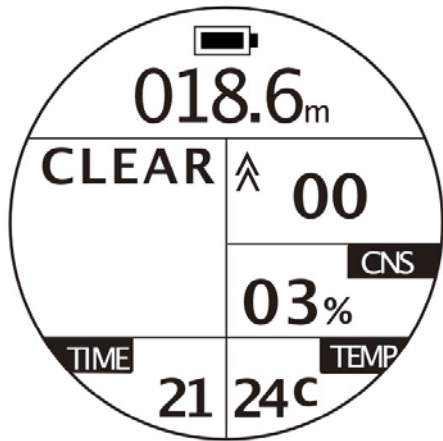
MOD 設定値での最大行動水深 56m

下段下段：

TIME ダイブタイム

O2% 酸素割合の設定値

	<p>スクーバモードの表示例（ダイビング中）</p> <p>18.6m: 深度</p> <p>NDL : 減圧不要限界 43 分</p> <p>↑03 : 浮上速度 3m/分</p> <p>PPO2 : 現在の酸素分 0.3</p> <p>TIME : ダイブタイム 21 分</p> <p>TEMP : 水温 24℃</p>
	<p>スクーバモードの表示例（NDL を超えた場合）</p> <p>NDL : 超えた時間をマイナスで表示（分）</p> <p>CEILING : シーリング深度 5m</p> <p>03↑ : 浮上速度 3m/分</p>
	<p>スクーバモードの表示例（減圧停止）</p> <p>STOP : 減圧停止時間 4 分 36 秒</p> <p>CEILING : シーリング深度</p> <p>※減圧停止を行わなければいけない深度</p>

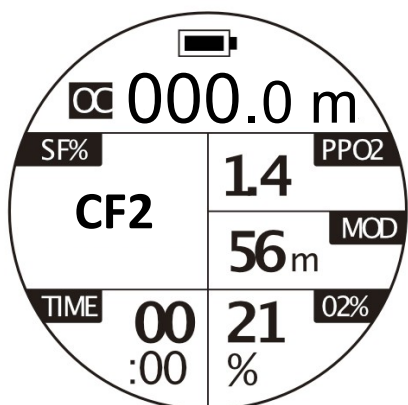


スクーバモードの表示例（減圧停止終了時）

CLEAR：シーリング深度でSTOPのカウントがゼロになり、減圧停止が終了するとCLEARが表示されます。

減圧停止終了後は水面に浮上可能です。

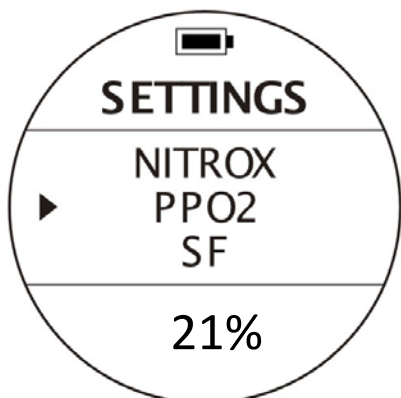
## 1.4.2 スクーバモードの設定



スクーバモードの設定画面

表示：スクーバモードで UP ボタン →  
SETTINGS

注意：ダイビング中はスクーバモードの設定は  
変更できません。必ず潜水前に設定を行って  
ください。



ナイトロックス設定

表示：スクーバモードで UP ボタン

→ SETTINGS

設定：NITROX で MODE → 画面下段が  
点滅表示

→ UP/DOWN で酸素割合を設定

→ MODE で決定

重要：

酸素割合を設定する場合は必ずアナライザーで  
分析した正しい酸素割合を設定してください。

また分析した酸素割合の小数点は、切り捨てた  
数値で設定を行ってください。

## 1.4.2 スクーバモードの設定



PPO2（酸素分圧）設定

表示：スクーバモードで UP ボタン

→ SETTINGS

設定：PPO2 で MODE

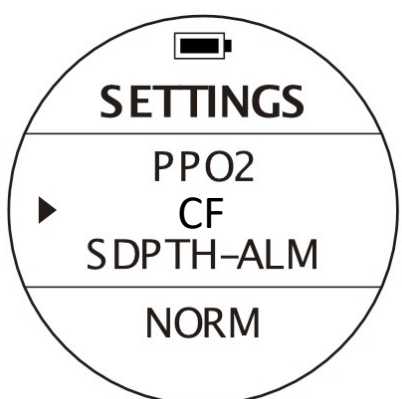
→ 画面下段が点滅表示

→ UP/DOWN で酸素分圧を設定

→ MODE で決定

**警告：**

**酸素分圧の変更で起こりうる危険性を十分に理解しているダイバーのみ、設定を行うことを推奨します。**



CF 設定（アルゴリズムの調整）

表示：スクーバモードで UP ボタン

→ SETTINGS

設定：CF で MODE

→ 画面下段が点滅表示

→ UP/DOWN で CF 値を設定

→ MODE で決定

アルゴリズム調整の設定値 CF1~3

CF1・・・CF2 より厳しい設定

CF2・・・標準設定

CF3・・・アグレッシブ

**警告：**

**設定の変更により、アルゴリズムの計算がどのように変化するが十分に理解しているダイバーのみ、設定を変更することをおすすめします。**

**CF 設定（アルゴリズムの調整）について：**

調整値 CF1~3 はグラディエントファクター 35/75、40/85、45/95 の勾配係数をベースにしています。またそれぞれに安全係数ラインを適応し、安全性を高める為のマージンが計算された調整値になっています。

## 1.4.2 スクーバモードの設定

 <p>A circular menu with a battery icon at the top. The text is arranged in three horizontal sections: 'SETTINGS' at the top, 'SF' followed by 'SDPTH-ALM' and 'STIME-ALM' in the middle, and 'ON' at the bottom. A right-pointing triangle is positioned to the left of 'SDPTH-ALM'.</p>	<p>SDPTH-ALM（深度アラーム）の ON/OFF</p> <p>表示：スクーバモードで UP ボタン → SETTINGS</p> <p>設定：SDPTH-ALM で MODE → 画面下段が点滅表示 → UP/DOWN で ON/OFF を設定 → MODE で決定</p> <p>ポイント： 設定を ON にすると、設定した深度に到達するとアラームが鳴ります。</p>
 <p>A circular menu with a battery icon at the top. The text is arranged in three horizontal sections: 'SETTINGS' at the top, 'SDPTH-ALM' followed by 'STIME-ALM' and 'SDPTH-THD' in the middle, and 'ON' at the bottom. A right-pointing triangle is positioned to the left of 'STIME-ALM'.</p>	<p>STIME-ALM（ダイブタイムアラーム）の ON/OFF</p> <p>表示：スクーバモードで UP ボタン → SETTINGS</p> <p>設定：STIME-ALM で MODE → 画面下段が点滅表示 → UP/DOWN で ON/OFF を設定 → MODE で決定</p> <p>ポイント： 設定を ON にすると、設定したダイブタイムに到達するとアラームが鳴ります</p>

## 1.4.2 スクーバモードの設定

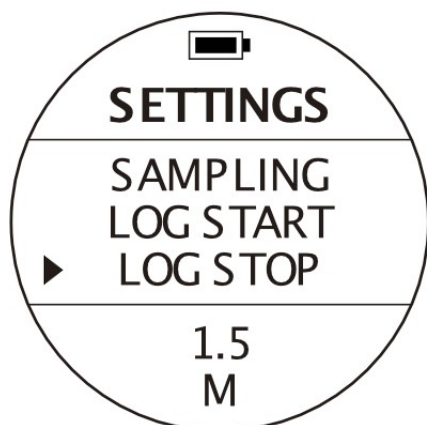
	<p>SDPTH-THD（深度アラーム）の深度設定</p> <p>表示：スクーバモードで UP ボタン → SETTINGS</p> <p>設定：SDPTH-THD で MODE → 画面下段が点滅表示 → UP/DOWN で深度（m）を設定 → MODE で決定</p> <p>ポイント： SDPTH-ALM（深度アラーム）を ON にすると、設定した深度に到達するとアラームが鳴ります。</p>
	<p>STIME-THD（ダイブタイムアラーム）の時間設定</p> <p>表示：スクーバモードで UP ボタン → SETTINGS</p> <p>設定：STIME-THD で MODE → 画面下段が点滅表示 → UP/DOWN で時間（分）を設定 → MODE で決定</p> <p>ポイント： STIME-ALM（ダイブタイムアラーム）を ON にすると、設定したダイブタイムに到達するとアラームが鳴ります。</p>

## 1.4.2 スクーバモードの設定

	<p>SAMPLING（ログの保存間隔）の設定</p> <p>表示：スクーバモードで UP ボタン → SETTINGS</p> <p>設定：SAMPLING で MODE → 画面下段が点滅表示 → UP/DOWN で秒（s）を設定 10、20、30 または 60 秒 → MODE で決定</p> <p>ポイント： 設定間隔を 長くする→より多くのログ数を記録できます。 短くする→より詳細なログを記録できます</p>
	<p>LOG START（ログの開始）深度の設定</p> <p>表示：スクーバモードで UP ボタン → SETTINGS</p> <p>設定：LOG START で MODE → 画面下段が点滅表示 → UP/DOWN で深度（m）を設定 1.5、2.0、2.5 または 3.0m → MODE で決定</p> <p>ポイント： エントリー後、設定した深度で自動的にログがスタートします。</p>



## 1.4.2 スクーバモードの設定



LOG STOP（ログの終了時間）の設定

表示：スクーバモードで UP ボタン

→ SETTINGS

設定：LOG STOP で MODE

→ 画面下段が点滅表示

→ UP/DOWN で時間（分）を設定

1、2、または 5 分

→ MODE で決定

ポイント：

水面に浮上後、設定した時間を経過するとログの記録が終了します。時間内に再度潜行すると、同じダイブシリーズのログとして保存されます。



UI（ユーザーインターフェース）の設定

表示：スクーバモードで UP ボタン

→ SETTINGS

設定：LOG STOP で MODE

→ 画面下段が点滅表示

→ UP/DOWN で NORMAL/LARGE  
を選択



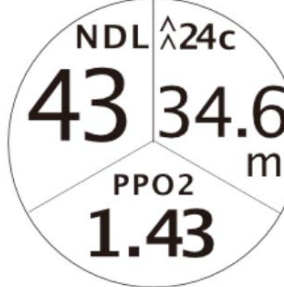
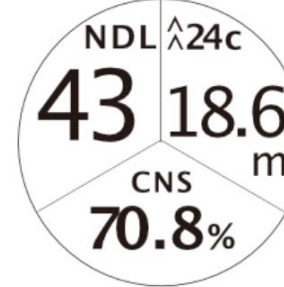



→ MODE で決定

ポイント：

UI を LARGE に設定すると、より大きな文字でスクーバモードを見ることができます。

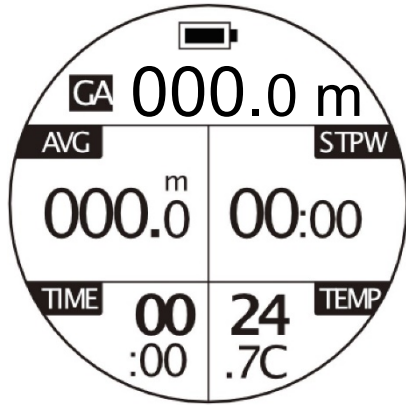
※次ページ参照

## UI（ユーザーインターフェース）を LARGE に設定した場合の ダイビングでの表示例

 <p style="text-align: center;">通常のダイビング中</p>	 <p style="text-align: center;">NDL を超えた場合</p>	 <p style="text-align: center;">PPO2 警告 設定値を超えた場合</p>	 <p style="text-align: center;">CNS 警告</p>
 <p style="text-align: center;">安全停止中</p>	 <p style="text-align: center;">安全停止終了時</p>	 <p style="text-align: center;">浮上速度警告</p>	

## 1.5 GAUGE – ゲージモード

### 1.5 ゲージモード



ゲージモードの表示（スタンバイ時）

画面上段：

深度 000.0m

画面中段左：

AVG 平均深度

画面中段右：

STPW ストップウォッチ

下段下段：

TIME ダイブタイム

TEMP 水温

ポイント：

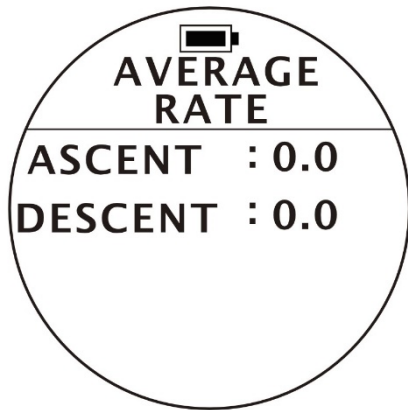
ゲージモードを使用時、平均深度とストップウォッチは UP ボタンでリセットできます。

## 1.6 FREE – フリーモード

### 1.6.1 フリーモード

 <p>The image shows a circular display divided into four quadrants. At the top center is a battery icon. The top-left quadrant shows 'FD 000.0m'. The top-right quadrant shows 'SI 00:00'. The bottom-left quadrant shows 'TEMP 25.0 C'. The bottom-right quadrant shows 'LAST TIME 000 s'. The bottom-left quadrant also shows 'LAST DPTH 000 m'.</p>	<p>フリーモードの表示</p> <p>画面上段：深度 000.0m          画面中段左：TEMP 水温          画面中段右：SI サーフェスインターバル          下段下段：          LAST DPTH 直近の最大到達深度          LAST TIME 直近のダイブタイム          ※フリーモードを表示すると自動的にサーフェスインターフェイスインターバルがスタートします。</p>
 <p>The image shows a circular display with a battery icon at the top. The word 'TIMER' is centered above the large number '000.0'.</p>	<p>TIMER (タイマー) 機能</p> <p>表示：フリーモードで DOWN ボタン          使用方法：UP ボタンでスタート/ストップ          MODE ボタンでリセット</p> <p>ポイント：          タイマー機能から DOWN ボタンを押すと 2 種のヒストリーを表示、その次にフリーモードの画面に戻ります。</p>
 <p>The image shows a circular display with a battery icon at the top. The text 'MAXIMUM RATE' is centered. Below it, four lines of data are shown: 'ASCENT : 0.0', 'DESCENT : 0.0', 'DEPTH : 00.0', and 'TIME : 00.S'.</p>	<p>MAXIMUM RATE (最大記録) 表示</p> <p>表示：タイマー機能で DOWN ボタン</p> <p>ASCENT：最大浮上速度          DESCENT：最大潜行速度          DEPTH：最大到達深度          TIME：最長潜行時間</p>

### 1.6.1 フリーモード



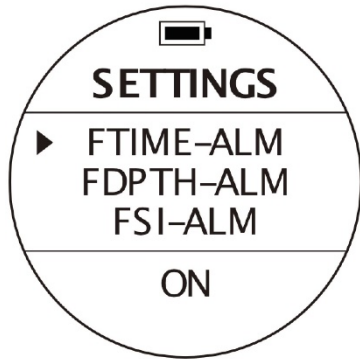
AVERAGE RATE (平均記録) 表示

表示 : MAXIMUM RATE (最大記録) 表示  
で DOWN ボタン

ASCENT : 平均浮上速度

DESCENT : 平均潜行速度

## 1.6.2 フリーモードの設定



FDPTH -ALM (ダイブタイムアラーム) の ON/OFF

表示 : フリーモードで UP ボタン

→ SETTINGS

設定 : FDPTH -ALM で MODE

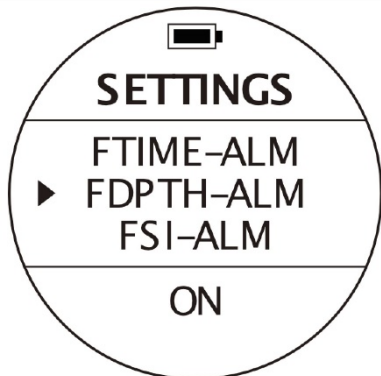
→ 画面下段が点滅表示

→ UP/DOWN で ON/OFF を設定

→ MODE で決定

ポイント :

設定を ON にすると、設定したダイブタイムに到達するとアラームが鳴ります。



FDPTH-ALM (深度アラーム) の ON/OFF

表示 : フリーモードで UP ボタン

→ SETTINGS

設定 : FDPTH -ALM で MODE

→ 画面下段が点滅表示

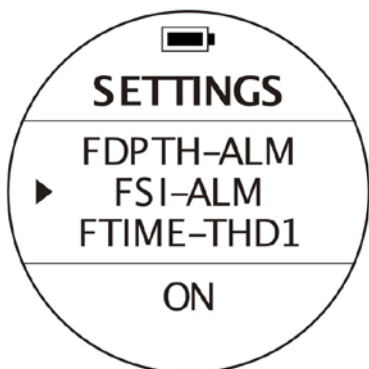
→ UP/DOWN で ON/OFF を設定

→ MODE で決定

ポイント :

設定を ON にすると、設定した深度に到達するとアラームが鳴ります。

## 1.6.2 フリーモードの設定



FSI-ALM（サーフェスインタバルアラーム）の ON/OFF

表示：フリーモードで UP ボタン

→ SETTINGS

設定：FSI -ALM で MODE

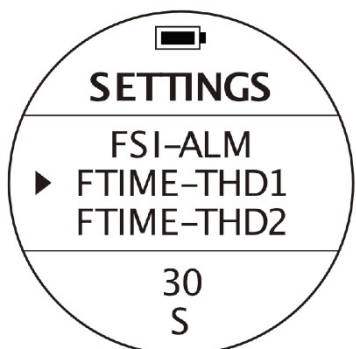
→ 画面下段が点滅表示

→ UP/DOWN で ON/OFF を設定

→ MODE で決定

ポイント：

設定を ON にすると、設定した間隔でアラームが鳴ります。



FTIME-THD（ダイブタイムアラーム）の時間設定

表示：フリーモードで UP ボタン

→ SETTINGS

設定：FTIME-THD で MODE

→ 画面下段が点滅表示

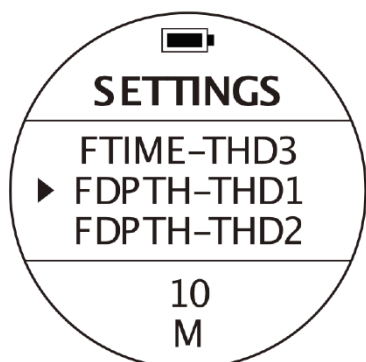
→ UP/DOWN で時間（秒）を設定

→ MODE で決定

ポイント：FTIME-ALM（ダイブタイムアラーム）を ON にすると、設定した時間に到達するとアラームが鳴ります。

このアラームは FTIME-THD1~3 を 3 種類設定することができます。

## 1.6.2 フリーモードの設定



FDPTH-THD（深度アラーム）の深度設定

表示：フリーモードで UP ボタン

→ SETTINGS

設定：FDPTH -THD で MODE

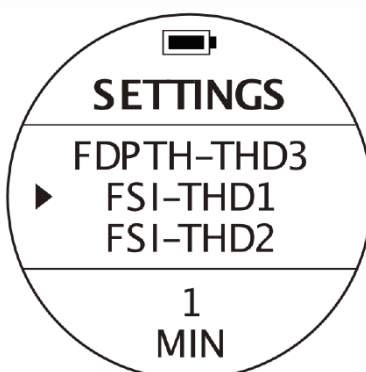
→ 画面下段が点滅表示

→ UP/DOWN で深度（m）を設定

→ MODE で決定

ポイント：FDPTH-ALM（深度アラーム）を ON にすると、設定した深度に到達するとアラームが鳴ります。

このアラームは FDPTH-THD1~3 を 3 種類設定することができます。



FSI-THD（サーフェスインタバルアラーム）の時間設定

表示：フリーモードで UP ボタン

→ SETTINGS

設定：FSI -THD で MODE

→ 画面下段が点滅表示

→ UP/DOWN で時間（分）を設定

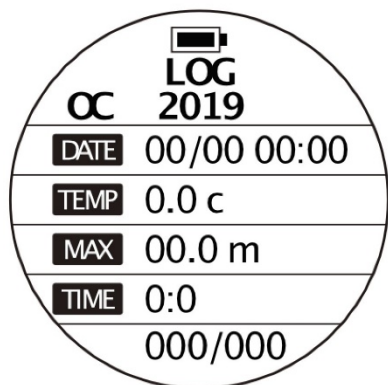
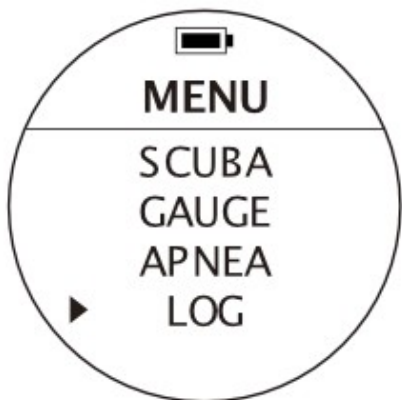
→ MODE で決定

ポイント：FSI -ALM（サーフェスインタバルアラーム）を ON にすると、設定した時間に到達するとアラームが鳴ります。このアラームは FTIME-THD1~3 を 3 種類設定することができます。



## 1.7 LOG – ログ

### 1.7 ログ表示



#### LOG (ログ表示)

表示：時計表示で MODE ボタン  
→ MENU  
→ LOG で MODE ボタン

UP / DOWN ボタンで見たいログを選択

表示内容：

OC: スクーバモードで使用したログ

※フリーモードのログは F

ゲージモードのログは GA

DATE：記録日時

TEMP：水温

MAX：最大到達深度

TIME：ダイブタイム

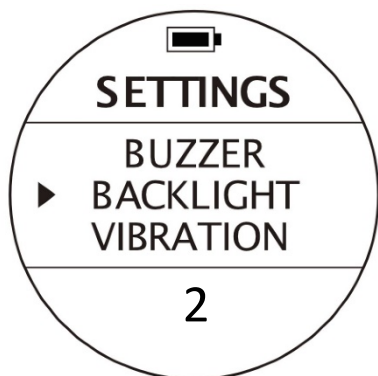
000 / 000：ログナンバー / ログ総数

## 1.8 SETTINGS – 各種設定

<b>1.8 各種設定</b>	
<p>操作：時計表示から MODE ボタンで MENU 表示 → UP/DOWN ボタンで SETTINGS</p>	
	<p><b>UNIT – 単位設定</b></p> <p>表示：UP/DOWN ボタン SETTINGS をスクロール → UNIT で MODE ボタン</p> <p>設定：→ 画面下段が点滅表示 → UP/DOWN で単位を設定 M/C メートル/°C FT/F フィート/°F → MODE で決定</p>
	<p><b>UNIT – 電源設定</b></p> <p>表示：UP/DOWN ボタン SETTINGS をスクロール → で MODE ボタン</p> <p>設定：→ 画面下段が点滅表示 → UP/DOWN ボタンで時間を設定 5、10 または 30 分 → MODE で決定</p> <p>ポイント： 設定時間で本機がスタンバイモードに入ります。</p>
	<p><b>BUZZER – 操作音設定</b></p> <p>表示：UP/DOWN ボタン SETTINGS をスクロール → BUZZER で MODE ボタン</p> <p>設定：→ 画面下段が点滅表示 → UP/DOWN で ON/OFF を設定 → MODE で決定</p>

## 1.8 各種設定

操作：時計表示から MODE ボタンで MENU 表示 → UP/DOWN ボタンで SETTINGS



### BACKLIGHT - バックライト設定

表示：UP/DOWN ボタン SETTINGS  
をスクロール

→ BACKLIGHT で MODE ボタン

設定：→ 画面下段が点滅表示

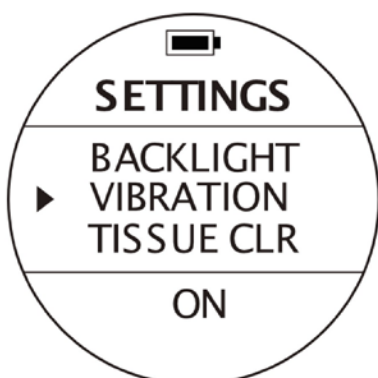
→ UP/DOWN で数値を設定

1 (暗) ~5 (明)

→ MODE で決定

ポイント：

バックライトを明るく設定するとバッテリー消費が早くなります。



### VIBRATION - バイブレーション設定

表示：UP/DOWN ボタン SETTINGS  
をスクロール

→ VIBRATION で MODE ボタン

設定：→ 画面下段が点滅表示

→ UP/DOWN で ON/OFF を設定

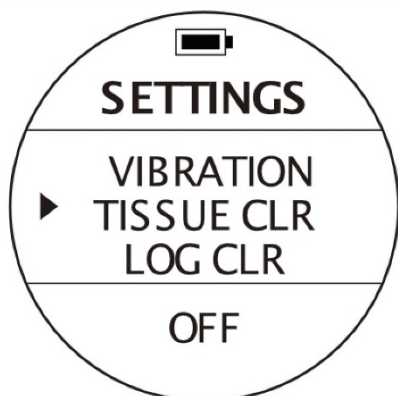
→ MODE で決定

ポイント：

ボタン操作、アラーム、警告の全てでバイブレーションが機能します。

## 1.8 各種設定

操作：時計表示から MODE ボタンで MENU 表示 → UP/DOWN ボタンで SETTINGS



TISSUE CLR - 組織リセット

表示：UP/DOWN ボタン SETTINGS

をスクロール

→ TISSUE CLR で MODE ボタン

設定：→ 画面下段が点滅表示

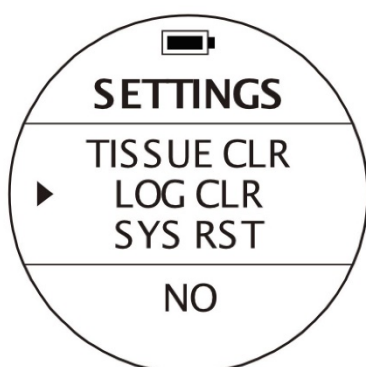
→ UP/DOWN で ON/OFF を設定

→ MODE で決定

**！警告！**

**—最悪の場合、死亡事故につながります—**

- この設定はダイブコンピュータ上段の全ての組織演算をリセットする機能です。
- 減圧に関する専門的で完全な知識、理解をもっていないダイバーはこの機能を絶対に使用しないでください。
- 万が一、前回のダイビングから 72 時間以内にこの機能を使用し、リセット操作を行ってしまった場合、その後 72 時間はダイビングを行わないで下さい。



LOG CLR - 全てのログの削除

表示：UP/DOWN ボタン SETTINGS

をスクロール

→ LOG CLR で MODE ボタン

設定：→ 画面下段が点滅表示

→ UP/DOWN で ON/OFF を設定

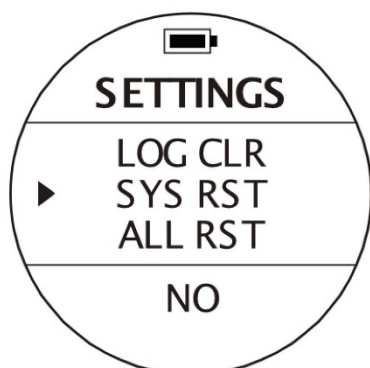
→ ON を選択し MODE でログを削除

注意：

- この機能を使用すると全てのログが削除されます。リカバリーはできません。
- ログの削除は減圧計算に影響を及ぼすことはありません。

## 1.8 各種設定

操作：時計表示から MODE ボタンで MENU 表示 → UP/DOWN ボタンで SETTINGS



SYS RST - 各種設定のリセット

表示：UP/DOWN ボタン SETTINGS  
をスクロール

→ SYS RST で MODE ボタン

設定：→ 画面下段が点滅表示

→ UP/DOWN で ON/OFF を設定

→ ON を選択し MODE でリセット

リセットされる内容：

- ダイビングに関する全ての設定（アラーム、酸素割合など）
- 1.8 各種設定の項目
- このリセット操作は減圧計算に影響を及ぼすことはありません。



ALL RST - 全リセット

表示：UP/DOWN ボタン SETTINGS  
をスクロール

→ ALL RST で MODE ボタン

設定：→ 画面下段が点滅表示

→ UP/DOWN で ON/OFF を設定

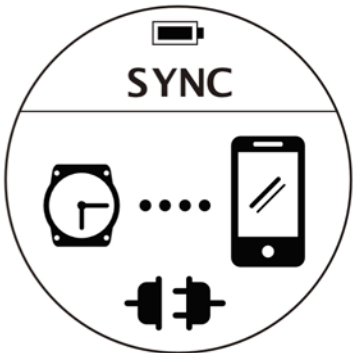
→ ON を選択し MODE でリセット

### ！警告！

—最悪の場合、死亡事故につながります—

- この機能ではログ、減圧計算、その他全ての設定がリセットされます。
- 万が一、前回のダイビングから 72 時間以内にこの機能を使用し、リセット操作を行ってしまった場合、その後 72 時間はダイビングを行わないで下さい。

## 1.9 SYNC – データシンク

1.9 データシンク	
操作：時計表示から MODE ボタンで MENU 表示 → UP/DOWN ボタンで SETTINGS	
	<p>SYNC – データシンク</p> <p>表示：UP/DOWN ボタン SETTINGS をスクロール → SYNC で MODE ボタン</p> <p>スマートフォン経由で専用アプリケーションをしようしたファームウェアアップデートなどに使用する機能です。</p> <p>※アプリケーションは 2020 年内にリリース予定</p>

## 製品仕様

- 3つのダイブモード スクーバ (Nitrox 21% ~ 56%)、ゲージ、フリー
- アルゴリズム：Bühlmann ZHL-16C (3段階で調整可能)
- Bluetooth5.0 (ソフトウェアアップデート)
- 急速充電モード (1時間で約 85%充電可能)
- 最大深度表示 100 m
- リチウム充電バッテリー 約 300 サイクル
- バッテリー稼働時間         ダイブモード 約 25 時間 (バックライト常時点灯)  
                                        スタンバイモード         約 3 カ月
- ログメモリー 約 200 本
- 液晶解像度         110 × 110 ピクセル
- スクリーンサイズ   2.9cm
- 重量 約 95g
- ベゼル・ボタン 316 ステンレススチール・スクラッチプルーフ加工
- 風防 K1 強化ガラス
- ストラップ カスタム NATO

## コピーライト

本書及びその内容はDeep 6 Gear社が発行した文章を翻訳したものとなり、内容の全てはDeep 6 Gear社及び株式会社エフエル・コーポレーションに帰属します。

本書は本機の所有者に対して操作方法に関する知識および基本的な情報を提供する目的で作成されています。Deep 6 Gear社の書面による同意なしに、上記以外のために本書の内容を使用または供給及び転送、公開、複製することは禁じられています。

## 免責事項

本製品はレクリエーションでの使用のみを目的としています。職業ダイバー用、専門家、産業用で精密、実験レベルの精度が要求される計測を行うために使用することはできません。

発行元 :

Deep 6 Gear

PHONE: +1-404-800-5967

ADDRESS: 1B Industrial Park CourtForsyth, GA 31029

株式会社 エフエル・コーポレーション

〒182-0026東京都調布市小島町2-25-40

TEL:042-489-7341

<http://www.flcorp.co.jp/>